

成田市自然観察会

坂田ヶ池総合公園で秋を見つけよう！

谷 優（成田市）

日時：2023年11月11日（土）9時30分～12時 天候：曇り

場所：坂田ヶ池総合公園

参加者：14名（大人6名、子ども8名） 成田市環境課職員3名

担当指導員：小川、松尾、藤田、井上、谷、宮本（新人）

4日前は気温が27度もある夏日、それが今日は気温が15度と一気に真冬並みの寒さになってしまいました。

2つのグループに分かれて活動開始。ケヤキやモミジの種を拾い、アカシデの種を観察。キタキチョウが寒さにもかかわらず姿を見せてくれました。いよいよメインのドングリ拾い。コナラ、クヌギ、マテバシイ、シラカシ、アカガシのドングリを見つけました。子ども達はドングリの実だけでなく、帽子（殻斗）もセットで見つけると大事そうに袋にしまっていました。

マテバシイの木を見ると、黒い液がたくさんの所から出ていました。カシノナガキクイムシの食害のためと教えてもらおうと「かわいそうだ。」と同情していました。次に落ち葉を貯めた堆肥置き場に行きました。掘ってみるとカブトムシの幼虫がたくさん。丸々と太って大きい幼虫。子どもだけでなく、お母さん方も「大きい！」と初めて見る人も多く、驚いていました。

集めたドングリを種類毎に分けてから、ドングリのコマ作りに挑戦。続いて場所を管理棟に移し、ドングリを使ったやじろべえ、モミジの種のおもちやアオギリの種のおもちやを作りました。どちらかという、どんぐりの特徴や木の実の説明には反応が乏しかった子ども達。それが、作る作業になってからは夢中になって取り組む姿が印象的でした。

活動が終わってからの振り返りで、保護者の方からも感想を伺いました。
○今日はいろいろな植物に触れたりし、自然の中で穏やかな気持ちになれました。
○活発で落ち着きのない子と言うお母さんの感想。普段、ユーチューブばかり見ている、叱ったりして私がイライラしていた。そんな子が、自然に親しみ生き生きと活動している姿を見て嬉しかった。

指導者が立てた活動計画、それにその日に集まった子ども達が乗ってこない場合もあります。計画にこだわらず、その場の状況に応じて臨機応変に対応していくことが大事であることを、この日のベテランの指導者から学びました。



ドングリ拾い



カブトの幼虫探し



ドングリごま作り



やじろべえ楽しいな